

# ホタテで倉庫いっぱい

東京電力福島第一原発事故で発生した汚染水（ラプス処理水）の海洋放出で水産業界が苦境に陥っています。問題をめぐり、ある水産関係者は、中国による日本産水産物の輸入停止の影響が、業界に打撃を与えていると指摘。政府支援策は「期待できない」といいます。

（小瀬井由由）

岸田文雄首相が海洋放出入規制を強化しました。特許計画を認めただけで、東電は海洋放出を8月24日から開始。今月11日に1回目の放出が終了しています。この関係者は、業界の「喫緊の課題」として、損失補償と水産物停滞の解決を挙げます。

海洋放出に対し、中国や香港、マカオが水産物の輸出規制を強化し、水産加工会社や卸売り会社、貿易商社に影響が広がっているといっています。ウニや高級魚の日本国内での価格は、中国市場の半額近くでなければ流通しないといわれています。

東電は、海洋放出に伴う風評被害の賠償受け付けを10月2日に開始します。業界内では損害賠償請求に向けて、昨年度との価格差を出せるよう準備を進めているといっています。ただ、中国にホタテを輸出していた水産加工会社や卸売り会社、商社は被害額が大きくなり、損失に見合う補償がまわれないか不安が広がっているといっています。

「喫緊の課題」として、損失補償と水産物停滞の解決を挙げます。

海洋放出に対し、中国や香港、マカオが水産物の輸出規制を強化し、水産加工会社や卸売り会社、貿易商社に影響が広がっているといっています。

東電は、海洋放出に伴う風評被害の賠償受け付けを10月2日に開始します。業界内では損害賠償請求に向けて、昨年度との価格差を出せるよう準備を進めているといっています。ただ、中国にホタテを輸出していた水産加工会社や卸売り会社、商社は被害額が大きくなり、損失に見合う補償がまわれないか不安が広がっているといっています。

## 汚染水放出で水産業界苦境

中国向け水産物

主な魚種	輸出額 (億円)
ホタテ貝	489
ナマコ	98
マグロ	40
スケソウダラ	20
サケ・マス	18
合計	836

(政府資料をもとに作成、2022年)



## 中国の水産物輸入停止が影響

会社、貿易商社に影響が広がっているといっています。ウニや高級魚の日本国内での価格は、中国市場の半額近くでなければ流通しないといわれています。

東電は、海洋放出に伴う風評被害の賠償受け付けを10月2日に開始します。業界内では損害賠償請求に向けて、昨年度との価格差を出せるよう準備を進めているといっています。ただ、中国にホタテを輸出していた水産加工会社や卸売り会社、商社は被害額が大きくなり、損失に見合う補償がまわれないか不安が広がっているといっています。

### 政府に期待なし

水産物の物流も停滞しています。もともと全国にある卸売の業者などの水産物を保存する冷凍倉庫が足りておらず、その状況で中国の禁輸措置が起きたら関係者は指摘します。ただ、輸出できないホタテ貝で倉庫がいっぱいになる中、「これから北海道で秋サケ漁が本格化する」といいます。

関係者は「支援があっても新規販路の獲得には時間がかかる」と述べて、損害補償がいまいちな政府パッケージは期待できないといっています。「海洋放出はしてほしくない」と胸の内を明かしました。